

1. 市民の安心安全を守ることの仕組みおよび体制について

【質問】情報発信は第一報から10分以内の発信を目標値として設定し防災行政無線の前に発信せよ。

【市長答弁】その方向で実施する。

【質問】初動を早くする意識を全庁で共有せよ。

【市長答弁】「空振りを恐れず、見逃しは許されない」を意識し、初動を早くする。

【質問】課長職を兼務した部長職を置け。

【総務課長答弁】職員数や県内自治体の状況などを考慮して今後検討する。

【質問】保護者やPTAに対してメール配信の希望を問え。

【教育長答弁】実施していない学校には保護者に対してメール配信の希望を確認させる。

【質問】登録型のメール配信サービスを導入せよ。

【市長答弁】早急にシステム導入を実施する。

2. 子どもたちの安心安全および教育について

【質問】千里浜町はまなす団地前に信号を設置せよ。

【市長答弁】今年度中に設置される予定である。

【質問】児童虐待を発見した場合の窓口はどこか。

【市長答弁】健康福祉課子育て支援係である。

【質問】虐待認知件数はどの位か。

【市長答弁】平成22年度からの継続が27件で、26年度は新規対応の2件を含め合計29件である。

【質問】虐待防止のための啓蒙活動は。

【市長答弁】虐待防止キャンペーンや児童虐待防止月間に講演会を開催している。

【質問】危険ドラッグ等の有害あるいは依存性があるものの危険性に対する啓蒙は。

【教育長答弁】喫煙、飲酒、薬物乱用による害を学習する内容が位置づけられている。

【質問】具体的には。

【教育長答弁】身体に与える悪影響や依存性があることについて学習しており、どのようにして断るかについても演習を取り入れている。

【質問】子ども議会を検討せよ。

【市長答弁】学校とも協議の上、検討させていただく。

3. 市民のための自然の魅力を活かした町づくりについて

【質問】公園等を定期的に巡回し、ゴミを不法に投棄する者を見つけ、注意や警告をせよ。

【市長答弁】公園管理者、警察、石川県と協議し、巡回を強化しながら不法投棄ごみの対策に努める。

【質問】子どもたちに自分たちの住む愛する地域にゴミを捨てないことの意義を指導せよ。

【教育長答弁】道徳教育は学校教育のみならず社会全体で取り組むべきであり、家庭や地域とも連携を図りたい。

【質問】道の駅等の投資的経費の考え方や方向性、特に赤字というものの概念を問う。

【市長答弁】「入るを量りて出ざるを制す」「最小の経費で最大の効果を上げる」収支均衡を原則に国からの補助金などを最大限活用し高度なインフラの整備を行う。

【質問】道の駅は赤字でも構わないとの副市長の発言は事実か。

【副市長答弁】誤解を招くことがあればお許しいただきたい。費用対効果を常に頭に置きながら、見きわめながら進める。

【質問】自然栽培は羽咋市が投資すべき、注力すべきものである。市長の見解は。

【市長答弁】自然栽培を実践する農業者の増加や自然栽培農産物の安定した量の確保につながる対策が必要と考えている。

【質問】自然栽培の魅力や価値を市ももっと勉強し理解し、自ら伝えていくような努力が必要。

【市長答弁】世界農業遺産の構成資産に位置づけられていく。生産拡大を支援し、加工品の開発やブランド化に取り組み、販売拠点づくりを進める。

【質問】外から来る人、外から呼ぼうとする人ばかりに意識はいつてはいないか。

【市長答弁】これまでも住民福祉の増進を念頭に置きながら施策を実施してきており、住民を第一とする姿勢はこれからも変わらない。

【再質問】安全、安心について担当課である環境安全課長、農林水産課長はどのように捉えられて、また今後どのような意気込みでやるのか。

【農林水産課長答弁】今後とも最善の努力で臨んでいきたい。

【環境安全課長答弁】災害応急の強化、広報の強化、情報収集の強化を図りながら、自助、共助、公助のもと災害に対しての万全なる対策を考えている。